



水資源対策の一環として完成した亀川ダム（本渡市）

豊かな生活を支える 社会基盤の整備と産業

社会基盤の整備充実

公共事業の推進

公共事業については、財源対策債（県債の一つで、地方財政全体の財源不足を補てんするための県債）がなくなるという厳しい状況ですが、公共事業の積極的な推進を図り、地域社会の基盤整備を着実に進めていくとともに、県経済浮揚にも資するため、国の認証見込額の全額を計上しました。

国の公共事業関係予算は三年連続据え置かれていますが、本県にとりましてまだまだ遅れているといわれる地域社会の整備を図るため、県単独事業については、道路関係事業を中心に、前年比8.5%増の予算を計上しました。

公共事業の推進

	56年度当初予算	57年度当初予算	57 / 56
	千円	千円	%
公共事業	131,303,563	127,382,180	97.0
① 補助事業	95,388,719	95,039,405	99.6
(1) 道路橋りょう	22,123,700	22,395,500	101.2
(2) 河川砂防海岸	16,834,055	16,141,162	95.9
(3) 農業基盤関係	31,152,974	30,743,346	98.7
(4) 治山、林道関係	5,916,314	5,943,485	100.5
(5) 水産、漁港関係	6,369,634	6,612,605	103.8
(6) その他	12,992,042	13,203,307	101.6
② 単独事業	19,856,150	21,543,923	108.5
(1) 道路関係	13,714,691	14,839,965	108.2
(2) 河川砂防関係	4,863,829	5,342,230	109.8
(3) その他	1,277,630	1,361,728	106.6
③ 国直轄事業	7,207,337	7,878,280	109.3
④ 災害復旧事業	8,851,357	2,920,572	33.0

★道路橋りょう……………223億9,550万円

国の道路整備方針に合わせ、生活環境の改善と基盤の整備を積極的に推進することにより、本県の均衡ある発展を図ります。

このため県内道路網の骨格をなす一般国道212号外15路線、広域的な生活圏域の形成に必要な熊本玉名線外256路線の主要な県道の改良事業、橋りょう整備、舗装新設等を行います。また、道路、交通の安全と事故防止を図るため、災害防除及び交通安全施設に特に重点をおいて整備を進めます。

★道路事業（単独事業）……………148億3,996万円

道路交通上危険な個所の解消を図るため、小規模でしかも地域住民の生活に密着し、かつ、その効果が顕著に期待できるものについて、整備拡充を進めます。

具体的には、道路改良、木橋、老朽橋の改築、落石等による交通危険箇所の災害防除、交通事故防止の安全施設、生活環境改善の舗装及び道路排水側溝などの整備を図ります。

★河川・海岸・ダム事業……………108億9,526万円

梅雨時及び台風による集中豪雨によって河川が氾濫し、市街地や農地に毎年多くの災害が発生しています。災害発生危険性に対処して、河川治水施設の安全度の向上を図るとともに、増大する水需用に対処するため、治水・ダム施設の整備を進めます。本年度から

新たに釈迦院ダムの実施調査を行います。

また、高潮・波浪等による災害発生及び海岸侵食の進行を防止するとともに、海浜地をレクリエーションの場として有効に活用するため、海岸施設及び環境の整備を推進します。

★河川事業（単独事業）……………42億3,234万円

治水機能の安全性を確保するため、小規模で地域住民の生活環境に密接に関連し、その効果が顕著に期待できる箇所について、河川の改良、推積土砂の掘削及び環境の整備を図ります。

★港湾整備事業……………37億1,405万円

国の港湾整備5ヶ年計画に合わせ、港湾施設の整備拡充を進め、本県の物資流通の円滑化と産業の振興、発展を図ります。

重要港湾八代港、三角港の岸壁の延長及び泊地等の整備を推進します。

また、本渡港をはじめ県管理地方港湾12港の岸壁、物揚場、臨港交通施設、道路の整備、防波堤の延長、護岸の補強、泊地の浚渫等を行います。

なお、市町村管理港湾9港の事業に対して補助を行います。

★砂防事業等……………52億4,590万円

砂防、地すべり、急傾斜地などの指定箇所のうち、土砂災害から地域住民の生命と財産



改築中の大榎樋門（八代市）